

平成30年5月21日

Press Release

富山市
福祉保健部 保健所保健予防課
結核・感染症係
電話 428-1152 (直通)

腸管出血性大腸菌（^{オー} O111及び血清型不明）感染症患者の発生について（第2報）

平成30年5月18日（金）付けで公表した腸管出血性大腸菌感染症（10歳未満男児）の発生（第1報）に伴い、接触者の健康状況調査を実施したところ、本日までに2名の感染を確認したので、次のとおりお知らせします。

記

1 患者の発生状況

(1) 患者 第1報患者の同居家族

①40歳代 女性 ②10歳未満 男児

(2) 海外渡航歴 あり（東南アジア地域）

(3) 経緯 ・5月 6日（日）帰国

7日（月）患者①：腹痛が出現したが、その後回復した。

17日（木）患者①、②：健康状況調査による検便を提出した。

・患者②は無症状

(4) 診断 5月19日（土）患者①：腸管出血性大腸菌O（型不明）（VT1）感染症と診断

患者②：腸管出血性大腸菌O111（VT1）感染症と診断

(5) 症状 医療機関を受診し、内服治療中である。

2 患者及び感染源調査

(1) 患者の喫食状況調査及び行動調査を実施

(2) 患者の健康状況調査を実施

3 対応

(1) 患者及び接触者に対し衛生教育を実施

(2) 患者自宅等の消毒を指示

4 腸管出血性大腸菌感染症の発生状況【参考】

別紙のとおり

予防対策について

○食べ物は十分加熱しましょう

特に食肉については、生食を避け、中心部まで十分加熱するようにしましょう

○手洗いと消毒を徹底しましょう（調理の際、食事の際、トイレの後など）

○下痢等の症状がある場合は、速やかに医師の診察を受けましょう

(別紙)

【参考】

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況（患者数）

	平成 30 年	平成 29 年 同時期延べ数	平成 29 年 総数
	県内 (うち市内)	県内 (うち市内)	県内 (うち市内)
○157	0 (0)	0 (0)	15 (9)
○26	0 (0)	3 (1)	11 (1)
○111	2 (本事例を含む) (2) (本事例を含む)	0 (0)	0 (0)
○91	0 (0)	0 (0)	3 (0)
○146	0 (0)	0 (0)	1 (1)
○222	0 (0)	0 (0)	2 (0)
型不明	1 (本事例を含む) (1) (本事例を含む)	0 (0)	0 (0)
腸管出血性 大腸菌感染症 計	3 (3)	3 (1)	32 (11)